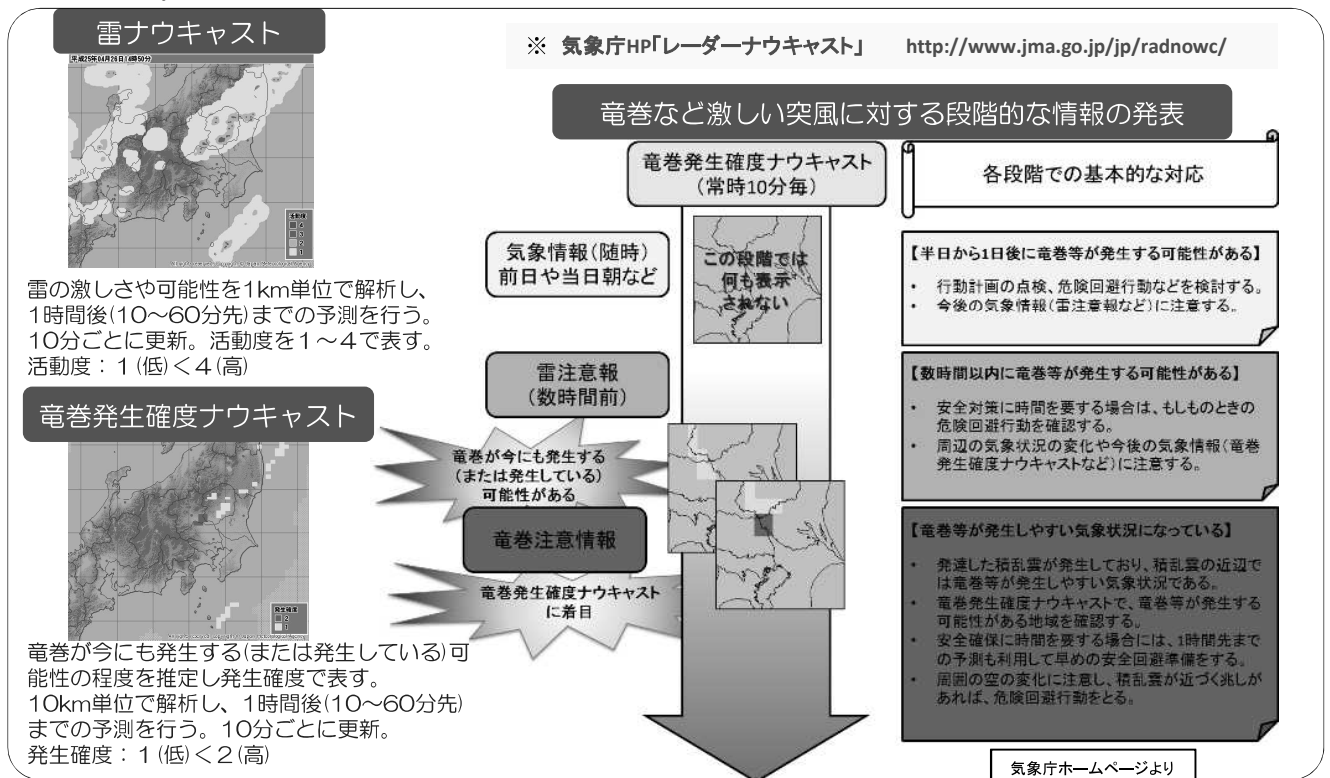


2 発生時の危機管理(命を守る)

発達した積乱雲がもたらす落雷や竜巻等突風については、局地的な短時間の現象であり、場所と時間を特定した予測が困難です。屋外での教育活動においては、指導者は、随時に気象情報を確認することで、落雷や竜巻等突風、急な大雨の危険性を認識するとともに、天候の急変などの場合には躊躇することなく計画変更・中断・中止等の適切な措置を講ずることによって、児童生徒等の安全を確保することが大切です。

(1) 情報収集等

- テレビやラジオ、インターネット等で雷注意報や竜巻注意情報等の気象情報を入手する。
- 積乱雲は急に発達することがあるため、屋外での活動前だけでなく、活動中も随時空の様子に注意し、※レーダー・ナウキャスト等の気象情報を入手して最新の状況把握に努める。
- 屋外で活動する際は、朝から天気予報に注意する。特に「**大気の状態が不安定**」「**急な雨に注意**」「**雷を伴う**」「**竜巻などの激しい突風**」といった キーワードに注目する。
- 竜巻注意情報は有効期間を発表から1時間としているが、注意すべき状況が続く場合には再度発表されるので注意する。



(2) 落雷・竜巻等突風の予兆

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
• 大粒の雨や雹(ひょう) が降り出す。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。

気象庁ホームページより